

ストーリーの心理学

Making Stories: Law, Literature, Life

読書会

ナラティブと質的研究会では、ナラティブ・アプローチを先導してきた人物の著書を読む読書会を実施してきました。2015年度は、ナラティブ心理学の代表者であるJerome Brunerの著書(“Acts of meaning”全章, “Making Stories”前半)を、様々な分野の研究者が集って読み合うことで、豊かな議論が展開されました。今回は、前回に引き続き、Brunerの“Making Stories”を対象として、後半の章を吟味します。参加資格は問いません。研究・実践の領域をこえた、多様な分野からのご参加をお待ちしております。「意味」とは何か、改めて問い直したい方、ナラティブについて学びたい方、Brunerの思想について知りたい方、ご参加をお待ちしております。

日時: 7月2日 (土) 13:00-15:30

場所: 立命館大学衣笠キャンパス 洋々館6F 第3研究会室 (989号室)

内容: 『ストーリーの心理学-法・文学・生をむすぶ-』 (岡本ほか訳, 2007)
“Making stories: Law, Literature, Life” (Bruner, 2003)

コメンテータ: やまだようこ先生

13:00~13:45 第3章 物語による自己の創造
発表者: 駒澤真由美さん (立命館大学大学院)

13:45~14:30 第4章 では、なぜナラティブなのか
発表者: 張 暁紅さん (関西大学大学院)

14:40~15:30 やまだようこ先生コメントおよび討論

参加方法: ①ご氏名、②ご所属、③日本心理学会会員の場合は会員番号を添えて、narrative.reservation@gmail.com宛に、お申込ください。

**参加無料
要申込**

主催: ナラティブと質的研究会
(発達心理学会分科会)

「ナラティブと質的研究会」詳細はHPを参照
<http://www.ritsumeai.ac.jp/~yyr12085/yyamada/ynarrative.html>